






支出調書

会派名	新政会	代表者	經理責任者	起案者	
				會田一男 	
区分	事由	費目・金額			小計
1 調査研究費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		調査委託費		振込料	
2 研修費		会場費		講師謝金	
		出席者負担金・会費		交通費	
		旅費		自動車燃料費	
		資料作成費		食糧費	
		振込料			
3 広報費	会報20号作成費・新聞折込料 (2021年1月発行)	会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		広報誌(紙)	570,900	報告書等印刷費	
		送料(折込料含む)	392,177	ウェブページ掲載代	
		茶菓子代		振込料	
4 広聴費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		茶菓子代		振込料	
5 要請・陳情活動費		交通費		旅費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
6 会議費		会場費		交通費	
		自動車燃料費		資料作成費	
		振込料			
7 資料作成費		印刷製本費		翻訳料	
		筆耕料		振込料	
8 資料購入費		法規追録代		参考図書代	
		新聞(日刊紙)購読料		雑誌等購読料	
		有料データベース等利用料		振込料	
9 人件費		賃金		社会保険料等	
		振込料			
10 事務所費		備品購入費		事務機器等リース代	
		消耗品等事務費		印刷代	
		振込料		配送手数料	
11 通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等	
		自動車燃料費(按分)		その他	
支出年月日	2021年 2月 1日	現金出納簿 支出番号	10	合計	963,077

支出明細書兼支出証明書

支出番号 10

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研修費	③ 広報費	4 広聴費		広報誌(紙) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	会派の活動内容を広く市民に伝える会派広報誌				
内 容	レイアウト、データ制作及び印刷料 83,800 枚				
	印刷代 519,000 円 + 消費税 51,900 円 = 570,900 円				
支出年月日	支 出 先			支 出 金 額	
2021年2月1日	株式会社 デザインライフ			570,900 円	
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通 

領 収 証

№ 000055  
令和 3 年 2 月 1 日


新 政 会 様

金額 ¥570,900- 円也


会報20号データ制作及び印刷料(内消費税:51,900円)

現金  小切手  銀行振込  受取手形  相殺  係印

上記の金額領収いたしました。



販促&広告全般の企画制作・実施管理  
代表取締役 武井 隆  
〒963-8023 郡山市緑町10  
TEL 024(923)5555・FAX ( )



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。  
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

# 御見積書

令和3年 1月 20日

見積No. 3465

新 政 会

御中

## 会報制作費

下記の通り御見積り申し上げます。

納入期日：           年       月       日  
 納入場所：  
 取引方法：  
 有効期限：           年       月       日

株式会社 デザインライ



963-8023  
 郡山市緑町10-17

TEL: 024-923-5555 FAX: 024-923-5573

担当者： XXXXXXXXXX

合計金額

¥963,077

内 容 仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額
会報20号制作、折込				
レイアウト、データ制作及び印刷料	83,800			519,000
(事務所納品分1,000枚含む)				
新聞折込料	32,150	枚	4.00	128,600
新聞折込料	50,650	枚	4.50	227,925
(郡山市内全域、全紙折込)				
※B3版、4/4C、コートB巻53kg、				
オフ輪印刷				
【消費税 10% (税抜分)】				87,552
合 計				963,077

**請 求 書**

963-8024  
 郡山市朝日一丁目23-7  
 郡山市市議会事務局総務課内  
 新 政 会 御中

令和 3年 1月 31日 No. 9382

株式会社 デザインライフ

963-8023 郡山市緑町10-17

TEL: 024-923-5555

FAX: 024-923-5573

担当: [Redacted]

お客様コードNo. 4

下記の通りご請求申し上げます。

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	会報20号制作、折込					
8	レイアウト、データ制作及び印刷料 (事務所納品分1,000枚含む)	83,800	枚		519,000	
8	1月31日新聞折込料(読売系)	32,150	枚	4.00	128,600	
8	1月31日新聞折込料(毎日・朝日合売店)	50,650	枚	4.50	227,925	
摘要:		合計	税抜	税額	総額	次ページへ

**請 求 書**

963-8024  
 郡山市朝日一丁目23-7  
 郡山市市議会事務局総務課内  
 新 政 会 御中

令和 3年 1月 31日 No. 9382

株式会社 デザインライフ

963-8023 郡山市緑町10-17

TEL: 024-923-5555

FAX: 024-923-5573

担当: [Redacted]

お客様コードNo. 4

下記の通りご請求申し上げます。

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	(郡山市内全域、全紙折込)					
	※B3版、4/4C、コートB巻53kg、 オフ輪印刷					
摘要:		合計	税抜	税額	総額	963,077

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$380 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 414,960 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

①	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
②	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
③	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
④	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
⑤	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>

小 計 0 mm<sup>2</sup> ... ii

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率} \quad 0 \%$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 570,900 \text{ 円} \times \text{対象外按分率} \quad 0 \% = 0 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 570,900 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 570,900 \text{ 円}}}$$

# 多 新政会 だより

しんせいかい VOL. 20

令和3年 新年号

発行日 令和3年1月31日  
 発行責任者 廣田 耕一  
 住所 郡山市朝日1丁目23-7  
 電話 024-924-2507  
 FAX 024-924-0141



未来に向かって...

### ごあいさつ

新政会会長 廣田 耕一

市民の皆様には、郡山市議会並びに新政会に対しまして格別なご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

何よりも新型コロナウイルス感染症との戦いの最前線に立ちこられた医療従事者の皆様、感染拡大抑止を図りつつ、地域経済の持続あるいは諸活動の持続にご尽力いただいております産業界の皆様、保育、介護、教育現場の皆様、そしてご家族の健康を願う全ての市民の皆様に改めて敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、東日本大震災からの復興・創生期間も終盤を迎え、地域経済の安定的発展も見えてきた時期に、東日本台風、新型コロナウイルス感染症に見舞われるなか、市民、産業界の皆様と力を合わせ、この困難な局面にしっかりと対峙し、乗り越えなければならぬと認識を

新たにしたところであります。

我々としまでも、まさに国の方針に呼応した「新しい生活様式」「実現型課題解決先進都市の創生」が基本方針として当局から示され、更なるSDGsの理念浸透、市役所のDX化、流域治水による災害に強い安全安心なまちづくりの推進など、それぞれの地域の課題や要望をしっかりと把握し、市民の皆様の声を市政に反映すべく、課題解決、要望実現に向けて真摯に取り組んでまいります。

今年は丑年になります。どんな困難にぶつかってもしっかりと立ち上がって、ゆっくり、ゆったり、急がず騒がず、どしりと構えて物怖じせず、確実に前進して充実の一年になればと思います。一日も早いコロナの収束と市民の皆様が健康で幸せな年になりますようご祈念申し上げます。

### 12月定例会の概要

郡山市議会12月定例会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、12月2日から17日までの16日間にわたり開催されました。

一般会計補正当初予算額2億8,347万3千円、特別会計当初補正予算額5,621万7千円それぞれ増額され、一般及び特別会計の累計額は、3億3,969万円、前年度同期比で14.6%増となり、原案通り可決しました。

東日本大震災後10年を迎え、郡山市震災復興基金のリニューアルにより「郡山市きずな」基金を創設するとともに、最終日に提出された人事案件に同意したほか、請願1件について採択しました。

なお、本年4月に行われる市長選挙に、新政会会長廣田耕一議員の一般質問に対し、品川萬里市長は立候補を表明しました。

### 新政会 議員紹介



顧問 遠藤 敏郎 (6期)  
 総務財政常任委員会



会長 廣田 耕一 (3期)  
 建設水道常任委員会(委員長)



副会長 石川 義和 (3期)  
 郡山市監査委員  
 総務財政常任委員会



幹事長 折笠 正 (2期)  
 議会運営委員会(副委員長)  
 建設水道常任委員会  
 郡山地方広域消防組合議員



栗原 晃 (3期)  
 環境経済常任委員会(委員長)  
 議会運営委員会  
 郡山地方広域消防組合議員



良田 金次郎 (2期)  
 総務財政常任委員会(副委員長)  
 郡山地方広域消防組合議員



會田 一男 (2期)  
 文教福祉常任委員会(副委員長)  
 旧豊田貯水池活用特別委員会



三瓶 宗盛 (1期)  
 環境経済常任委員会  
 広聴広報委員会  
 旧豊田貯水池活用特別委員会



福田 文子 (1期)  
 文教福祉常任委員会  
 議会運営委員会  
 広聴広報委員会

380 mm

### 一般質問(令和2年12月定例会)

12月定例会 市政一般質問には、廣田耕一議員、會田一男議員、折笠正議員、良田金次郎議員が登壇しました。

#### 廣田 耕一 議員

##### 本市の財政状況について

**問** 昨年の東日本台風による経費や今年の新型コロナウイルス感染症対策に要する経費など、従来に加えて大きな財政支出が求められるなか、現在の本市の財政状況の認識を伺う。

**答** 令和元年度決算では、一般会計、公営企業を除く29の特別会計の合計で黒字決算となっている。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率はともに黒字で赤字はなく、将来負担比率は実質的な負担額が生じない結果となり、実質公債費比率4.3%は前年より0.7%良好し、概ね良好な結果となっている。

また、財政調整基金は、12月補正後の基金残高見込みが91億6,146万と、残高目安となる標準財政規模の10%を大きく上回っており健全な財政運営を行っているとの認識している。

しかしながら、本市を取り巻く環境や新たな行政課題への対応が予想されるなど、今後、これまで以上、健全な財政運営が求められるものと考えている。

##### 来春の市長選出馬について

**問** 国難とも呼ぶべき困難な時勢とデジタル化への転換が待たなしの今、SDGs未来都市の認定をはじめ、花開きつつある成果を満開のものとするため市長は次の4年間も挑戦すべきであり、出馬を表明すべきと考えるが市長の所信を伺う。

**答** SDGs未来都市たる本市としては誰一人取り残さない社会の実現に全市を挙げて取り組む体制を構築しつつある。

本市の未来のため、持続可能なまちづくりが期待される中、これまでいただいたご縁、経験をバックキャストの感覚で、すべて投入しなければとの思いを深め、皆様のご支援を支えとして、来年4月の市長選挙に出馬することを強く決意するに至った。

私にとって、ご縁深く大恩ある本市の市長を務めさせていただくことは、この上ない名誉であり、市政発展のため、新たな時代への攻めの体制を築いて参る所存である。様々な課題のある中、引き続き皆様のご理解とご支援、ご指導を心からお願い申し上げ、出馬への決意表明とする。



#### 會田 一男 議員

##### 県道二本松金屋線改修の県へのさらなる働きかけについて

**問** 台風19号の被害は甚大であり、治水対策は、人命の安全安心を守る上で自治体の最優先事項である。阿武隈川の河川改修、河道掘削、堤防構築、県管理河川の改修は進んでいるが、阿武隈川東岸において南北に通ずる県道二本松線は、浸水により各所寸断され、避難所に行けなかった。そこで、県へできることから年次計画で改修するように要望すべきである。



**答** 令和元年東日本台風の被害を受け、災害に強い安心安全なまちづくりのためには本路線を含む国県管理の主要幹線道路において強靱化をはかる必要があることを認識し、2019年12月市長自ら国、県への要望書を提出している。「阿武隈川緊急治水対策プロ

ジェクト」と連携し平時・有事を問わない安全・安心な通行確保に向け計画的に事業推進が図れるよう県へ引き続き要望して行く。

##### 高柴デコ屋敷の公衆トイレについて

**問** 高柴デコ屋敷の公衆トイレの便器や手洗い場が茶色に変色し観光客からも苦情が出ている。故障箇所の修繕と上水道の付設による切り替えの計画等も含め当局の見解を伺う。

**答** 2006年度に男子洋便器1基、小便器2基、女子洋便器各1基、多目的トイレ1基をバイオマストイレとして整備した。手洗い台等の変色の原因は、利用する地下水の鉄分を取り除く装置の故障によるものであり、12月に故障した装置を交換する。手洗い台についても今年度中に交換する。将来的には、上下水道利用を前提に施設のあり方を検討して行く。

#### 折笠 正 議員

##### 令和3年度国土交通省関係予算の道路・河川事業に係る要望状況等について

**問** 令和2年度国土交通省関係予算配分方針は、「防災、減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を集中的に実施し、安全・安心な社会を実現することとしている。そこで、国へ令和元年東日本台風による被害やコロナ禍の状況を踏まえ、どのような事業内容の要望を行ったのか。



**答** 令和3年度予算要望状況は、将来を見据え、必要な事業に絞り集中投資するなど、長寿命化を図りながら、第2の復興予算と位置付け社会資本整備を図ることが予算要求のポイントとし、近年の気候変動影響を受けた、東日本台風のような深刻な被害をもたらしている現状を踏まえ、道路・街路事業関係17事業、河川関係事業4事業予算として25億3,900万円を国に要望している。

##### 小学校における教科担任制の導入に向けた取り組みについて

**問** 小学校における教科担任制の導入は義務教育9年間を見通した教育体制の構築、系統的な指導による中学校への円滑な接続、きめ細やかな指導による授業の質の向上に繋がり、また先生方の授業の準備負担は軽くなる。そこで、小学校での教科担任制導入について、どのように考えているのか、併せて、本市の取り組みについて伺う。

**答** 湖南小中学校及び西田学園では最大8教科、桑野小、行健第二小、明健小では高学年での教科担任制に取り組んでいる。さらに、スーパーティーチャーを同一中学校区の小中学校に派遣し、教員が系統的に指導する取り組みを進めており、学力向上や中学校進学不安解消等の成果が見られる。また、教科担任制については、各校1名以上の増員を図るため全国教育長協議会等を通じ、国や県に要望している。

#### 良田 金次郎 議員

##### 有害鳥獣対策について

**問** ここ数年熊やイノシシの出没回数が増加し、本市は電気柵を設置し、農作物被害対策に取り組んでいるが、一向に被害が減少しない状況にある。被害額と電気柵設置状況、今後の整備について、見解を伺う。



**答** 農作物の被害状況及び被害防止策については2017年度から毎年実施する集落アンケート調査と連携し市内全農家7,745戸を対象に郵送による調査を行っている。調査結果は2019年度イノシシ287頭、被害額542万円、2020年度は10月末でイノシシ841頭クマ99頭捕獲されている。電気柵については、国の鳥獣被害対策交付金を活用し2013年から8年間かけ総予算1億1,560万円かけ8行政センター管内で約565km整備した。今後年間70kmの電気柵整備に取り組んで行く。

##### 郡山南インター線周辺の開発について

**問** 中央工業団地に甚大な被害を出した台風19号、立地する企業にも甚大な被害をもたらした。そうした中、3月に郡山南インター線周辺にJAが主体となり農産物直売所をオープン予定であると聞いている。そこで郡山南インター周辺は、開発可能エリアとして屈指の立地環境を有していると思われるが、被災した企業や工場や物流施設が立地できるように整備すべきと考える。

**答** 2019年3月に策定した「郡山市市街化調整区域地区計画運用指針」により、条件を満たせばインターチェンジ出入口から距離2kmの範囲内等において、工場、物流施設等開発できる環境となっている。台風19号により被災した事業者等の支援として、2020年2月から施行した、被災建築物の市街化調整区域への移転許可基準により、用途地域に接している土地又はインターチェンジ出入口から距離300mの範囲内の土地については、申請期限内に許可を受ければ移転することが可能になっている。郡山南インターチェンジの周辺の開発については地区計画活用による民間事業者開発状況等を見極めながら適正に対応していく。

# 12月定例会で可決された主な事業

## 新型コロナウイルス感染症対策の拡充 9,000万円

**PCR検査**

民間検査機関 200件/日 × 172日分

- 保険診療報酬(1割~1期) 3,325万円
- 事務の代行を委託 82万円

**PCR検査補助金**

- ▽内容：行政検体採取料補助
- ▽補助額：1万円/1人採取
- ▽総額：705万円

**入院医療機関入院補助金**

- ▽内容：入院患者数と日数に応じて補助
- ▽補助額：1万円/入院1日
- ▽総額：4,480万円

**療養施設内感染対策補助金**

- ▽内容：診療患者が罹患であった場合の消毒薬等補助
- ▽補助額：5万円/罹患患者1人
- ▽総額：405万円

**療養施設内感染対策補助金**

- ▽内容：感染症患者を医療機関へ移送する費用・看護士への補助(補助額：医師34,816円/看護士1回など)

## 結婚する世帯の新生活を支援 ~結婚新生活支援事業~ 1,200万円

結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用(住居費や引越し費用など)に対し、国が示す施策に合わせて、新たな経済的支援を実施します。

対象世帯	対象となる世帯数	補助対象	補助額
夫婦ともに結婚日における年齢が34歳以下	夫婦の所得を合わせて340万円未満(年収で480万円未満)	結婚に伴う ①新居の購入費 ②新居の家具・家電・礼金、共済費、仲介手数料 ③引越し費や新生活費に支払った新居への引越し費用	1世帯あたり80万円(上限1回30万円)

## 市有施設の感染防止機能を強化 ~行政センター及び連絡所改修費~ 1億3,482万円

**センサー式自動水栓化**

○洋式便器設置  
ふたの自動開閉：便所、ウォシュレット

**センサー式フラッシュバルブ設置**

手洗いの自動水栓化 90カ所

○前後ハンドルを自動水栓化

**公共施設のトイレ洋式化率**  
67.2% → 73.5%  
(2020年9月末時点)  
目標洋式化率 74%達成

## 旧豊田貯水池跡地の利活用について 特別委員会を設置

市は旧豊田貯水池跡地の利活用について、具体的な整備計画に向け、市民等との議論のたたき台を目的に、災害リスク低減を図るグリーンインフラによる雨水の流出抑制機能などを含む旧豊田貯水池利活用方針(案)中間とりまとめを提案しております。

これに対し、議会としても具体的に提言できるよう「旧豊田貯水池利活用特別委員会」を設置し審議することとしました。



## 放課後児童クラブの待機児童解消を推進 ~放課後児童クラブ施設整備、民間放課後児童クラブ補助事業~ 1,424万円

**放課後児童クラブ施設整備**

設置場所	待機台小 (180人)	計	180人
DE奥	芳原小 (80人)		
新小	待機台小 (40人)		
豊田小	待機台小 (80人)		
東田小	待機台小 (40人)		

・供用開始 2021年4月  
・予算内容 施設整備、備品購入費等 1,424万円

**民間放課後児童クラブ補助事業**

市との連携推進のほか、補助制度の創設に伴う利用料の軽減を図り、待機児童の解消を図ります。

・民間児童クラブ21事業所(28クラブ)  
・定員 約600人

・目的  
①市の待機児童の受け入れ→市と連携(情報提供、紹介)  
②児童の安全・安心の確保→運営指導等による質の向上  
③保護者の負担軽減→利用料軽減による保護者の滞り残りの解消

・補助総額 2021年4月予定  
・予算内容 補助交付金1億8,754万円(県費負担)

# 一般質問(令和2年9月定例会)

9月定例会 市政一般質問には、三瓶宗盛議員、福田文子議員、栗原晃議員が登壇しました。

## 三瓶 宗盛 議員

**高齢者の健康維持活動におけるICT等の活用について**

**問** いきいき百歳体操をはじめ、これまで市や社会福祉協議会等が連携して行ってきた健康増進活動は、特に高齢者の方々の認知機能や身体機能の維持に大きく貢献してきた。ステイホームを強いられている高齢者等の介護予防に向け、ICTやオンライン等の新たな技術を活用した高齢者の健康増進活動への支援が必要と考えるが当局の見解を伺う。

**答** 団塊の世代が後期高齢者になる2025年を前にして、高齢者の健康維持は国の大きな課題、国は高齢者の健康維持という

ことでICT活用型のオンライン通いの場アプリケーションを開発した。また、私たちが考えた介護、介護予防体操を作成した。広く健康体操を普及させるが、要はどうやってその気になってもらうかが大事である。

そのために公民館等でICT活用型の授業や遠隔リモート講演会等でICT活用を様々な面で広げていく。しかし、ICTを使うのが健康体操ばかりではないという雰囲気をつくることも大事であり、ICT等を使うことで生じる健康問題も取り組んでいく。



## 福田 文子 議員

**自転車保険について**

**問** 自転車事故は莫大な賠償金を払わなくてはならない場合も起きている。自治体によっては自転車事故に関わる賠償などに備え、条例制定による自転車保険加入の義務化が進められている。被害者への補償、そして加害者の責任として、自転車保険への加入は重要であり、セーフコミュニティのまちづくりを推進する本市として、自転車保険への加入を促進していくべきと考えるが見解は。

**答** 自転車保険への加入促進については、市民の共助の課題であり、大変重要な課題である。被害者の速やかな救済と加害者の経済的負担の軽減等を目的とした自転車保険の加入促進は大変意義あるものと考えており、セーフコミュニティ推進協議会、福島県自転車軽自動車商工協同組合、日本損害保険協会等関係団体と連携しながら、自転車保険の重要性について周知、加入促進を図っていく。





栗原 晃 議員

農地付き空き家対策の実施に向けて

問 6月定例会において新規就農者の誘導定着の取組として空き家に付随する農地に別段面積を設定する取組はしていないが、その必要性について調査研究すると言われているが新規就農者の受入れ促進や遊休農地の解消を図るためにも早急に取り組むべきと考えるが、どのような取組をしてきたのか。

答 本市農業委員会では、今年7月の月例総会において、農業委員及び農地利用最適化推進委員が農地付き空き家の別段面積等につ

いて調査研究を行い、理解を深めた。別段面積を何アールにするかなどについてさらに検討することとした。また、建設交通部及びNPO法人こおりやま空き家バンクと、課題解決のために意見交換を行っており、今後とも実施に向けた連携をしてみたいと考えている。実施時期はいつにするのかなどの詳細についてさらに検討する。農業委員会としては、事業の趣旨を踏まえ、農地付き空き家がスムーズに購入されるよう、できるだけ小さい面積を設定したいと考えている。

令和元年度 決算概要報告

(一般会計・公営企業4会計を含む33特別会計)

令和元年度決算特別委員会は、去る令和2年9月24日から29日までの6日間にわたり、決算議案34件について審査し、全会一致で可決及び認定されました。

決算の概要は次の通りです。

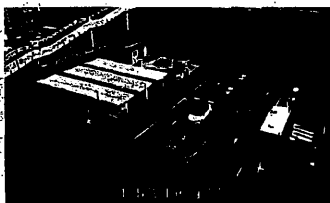
一般会計の決算額は歳入が1,416億6,185万円、歳出は1,354億3,068万円で、翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は、47億3,556万円の黒字決算となりました。



また、公営企業を除く29の特別会計の決算額の合計については、歳入626億889万円、歳出605億8,844万円で翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は、16億2,617万円の黒字決算となりました。財政健全化判断比率は、一般会計等の赤字額の割合を示す実質赤字比率及び公営企業会計等までを含めた連結実質赤字比率に赤字額はなく、市の財政規模に占める借入金返済額等の大きさを示す実質公債比率、借入金等に加え、将来にわたる市財政への負担の大きさを示す将来負担比率についても、健全な状態にあります。

なお、令和元年度東日本台風への対応は、公共土木施設の災害復旧費は、4億4,312万円となりました。農業施設の災害復旧費は2億2,939万円、災害対策資金融資制度を創設し19億5,355万円の融資が実行されました。その他、災害見舞金、住宅支援等を行いました。

安積永盛駅西口広場が改良されました



整備内容  
乗降場整備(一般車・大型車)  
駐輪場増設:40台  
合計240台(既存駐輪場含む)  
待合所整備(2ヶ所)  
照明増設(2基)  
通行帯

議会PDCAサイクル

各常任委員会で、事業の進捗報告の聴取と評価を実施するPDCAサイクルの取組みについて、定例会ごとに当局から報告を受けてきました。

9月定例会において、昨年度の対象事業に対する評価の報告と今年度の対象事業の選定を行いました。

常任委員会	令和元年度対象事業とその評価	令和2年度選定事業
総務財政	◆(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業 庁内連絡会議及び有識者会議について、住民説明会について、パブリックコメントの結果についてなど、質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき計画どおり行われたと評価した。	◇(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業
建設水道	◆雨水貯留施設等整備事業 ゲリラ豪雨対策第9年プラン策定の背景について、麓山調整池暫定供用後の内水被害軽減状況についてなど、質疑を交わし、年度内の予定工事は全て執行したことを確認し、事業計画に基づき計画どおり進捗したと評価した。	◇雨水貯留施設等整備事業
環境経済	◆森林経営管理事業 担い手や財源について、意向調査の結果について、林相調査の内容についてなど、質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき計画どおり行われたと評価した。	◇猪苗代湖一周サイクルーツーリズム推進事業
文教福祉	◆小中学校施設環境整備事業 トイレの洋式化について、予定した282器が整備された結果、進捗率は100%となり、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適切に整備されたと評価した。	◇健康増進事業 ◇保育士宿舎借り上げ支援事業 ◇保育士・保育所支援センター事業 ◇小学校長寿命化改修事業 ◇小中学校未来を拓く教育の情報化推進事業 ◇小中一貫プログラミング教育推進事業 ◇新合型校務支援システム

編集後記

本年はこの3月に、東日本大震災・福島第1原子力発電所事故から10年が過ぎ、復興・創生が求められます。そしてコロナ禍における緊急事態宣言の対象地域が1月13日現在11都府県に拡大されました。本県も全県民に対し感染拡大地域との往来だけでなく、県内での不要不急の外出自粛を要請等行い感染予防に取り組んでおります。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を祈らずにはおられません。

本年は丑年、牛は重い荷を背負い一歩ずつ確実に大地を踏みしめて歩みます。

年頭にあたり新政会一同は震災復興・創生そして最大の課題、コロナ感染症対策に全力挙げて取り組み、牛に学び、市民の皆様への付託に確実に歩む覚悟です。皆様のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

(新政会一同)

ご意見をお気軽にお寄せください  
☎(024)924-2507 fax(024)924-0141

虚礼廃止について

公職選挙法により書中見舞など、時候の挨拶状が禁じられております。市民の皆様には、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 10

区 分				※該当する区分に○印	費 目 名
1 調査研究費	2 研 修 費	③ 広 報 費	4 広 聴 費		送料(折込料含む) ※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費		
10 事務所費	11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等)				
支出目的 (支出事由)	会派の活動内容を広く市民に伝える会派広報誌				
内 容	会派広報誌の新聞折込料 82,800枚				
	折込料 32,150枚×4.00円 + 50,650枚×4.50円 =356,525円				
	折込料 356,525円+消費税 35,652円=392,177円				
支出年月日	支 出 先		支 出 金 額		
2021年2月1日	株式会社 デザインライフ		392,177円		
上記のとおり支出します。					
				議員氏名	共通



領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

No 000056

領 収 証

令和 3 年 2 月 1 日

新政会様



販促&広告全般の企画制作・実施管理

代表取締役 武井

〒963-8023 郡山市線町10-  
TEL.024(923)5555・FAX(9

金額 ¥392,177- 円也

会報20号令和3年1月31日新聞折込料(内消費税35,652円)



現金

小切手

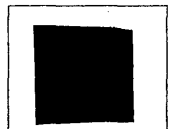
銀行振込

受取手形

相殺

係印

上記の金額領収いたしました。



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

# 御見積書

令和3年 1月 20日

見積No. 3465

新 政 会 御中

会報制作費

下記の通り御見積り申し上げます。

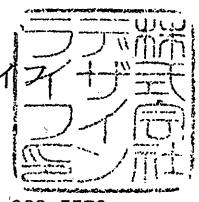
納入期日：           年    月    日  
 納入場所：  
 取引方法：  
 有効期限：           年    月    日

株式会社 デザインライ

963-8023  
 郡山市緑町10-17

TEL:024-923-5555 FAX:024-923-5573

担当者： XXXXXXXXXX



合計金額           **¥963,077**

内 容           仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額
会報20号制作、折込				
レイアウト、データ制作及び印刷料 (事務所納品分1,000枚含む)	83,800			519,000
新聞折込料	32,150	枚	4.00	128,600
新聞折込料 (郡山市内全域、全紙折込)	50,650	枚	4.50	227,925
※B3版、4/4C、コートB巻53kg、 オフ輪印刷				
【消費税 10% (税抜分)】				87,552
合 計				963,077

請求書

963-8024  
郡山市朝日一丁目23-7  
郡山市市議会事務局総務課内  
新 政 会 御中

令和 3年 1月 31日

株式会社 デザインライ

963-8023 郡山市緑町10-17



No. 9382

TEL:024-923-5555

FAX:024-923-5573

お客様コードNo. 4

担当:

下記の通りご請求申し上げます。

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	会報20号制作、折込					
8	レイアウト、データ制作及び印刷料 (事務所納品分1,000枚含む)	83,800	枚		519,000	
8	1月31日新聞折込料(読売系)	32,150	枚	4.00	128,600	
8	1月31日新聞折込料(毎日・朝日合売店)	50,650	枚	4.50	227,925	
摘要:		合計	税抜		税額	総額

次ページへ

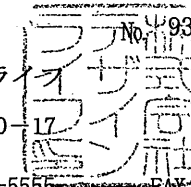
請求書

963-8024  
郡山市朝日一丁目23-7  
郡山市市議会事務局総務課内  
新 政 会 御中

令和 3年 1月 31日

株式会社 デザインライ

963-8023 郡山市緑町10-17



No. 9382

TEL:024-923-5555

FAX:024-923-5573

お客様コードNo. 4

担当:

下記の通りご請求申し上げます。

品番	品名	数量	単位	単価	金額	備考
	(郡山市内全域、全紙折込)					
	※B3版、4/4C、コートB巻53kg、 オフ輪印刷					
摘要:		合計	税抜	875,525	税額	総額

963,077

広報誌全体と対象外面積で按分する。

1 広報誌全体面積

$$380 \text{ mm} \times 273 \text{ mm} \times 4 \text{ 面} = 414,960 \text{ mm}^2 \dots i$$

2 対象外面積

①	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
②	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
③	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
④	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
⑤	mm×	mm=	mm <sup>2</sup>
小 計			0 mm <sup>2</sup> \dots ii

3 按分割合

$$ii \div i \times 100 = \text{対象外按分率} \quad 0 \%$$

4 対象経費算出

$$\text{支出額 } 392,177 \text{ 円} \times \text{対象外按分率} \quad 0 \% = 0 \text{ 円} \dots iii$$

(1円以下切り上げ)

$$\text{支出額 } 392,177 \text{ 円} - iii = \underline{\underline{\text{対象経費 } 392,177 \text{ 円}}}$$

# 新 新 政 会

だより

しんせい かい

VOL. 20

郡山市議会

令和3年 新年号

発行日 令和3年1月31日  
 発行責任者 廣田 耕一  
 住所 郡山市朝日1丁目23-7  
 電話 024-924-2507  
 FAX 024-924-0141



### ごあいさつ

新政会会長 廣田 耕一

市民の皆様には、郡山市議会並びに新政会に対しまして格別なご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

何よりも新型コロナウイルス感染症との戦いの最前線に立ってこられた医療従事者の皆様、感染拡大抑止を図りつつ、地域経済の持続あるいは諸活動の持続にご尽力いただいております産業界の皆様、保育、介護、教育現場の皆様、そしてご家族の健康を願う全ての市民の皆様に改めて敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、東日本大震災からの復興・創生期間も終盤を迎え、地域経済の安定的発展も見えてきた時期に、東日本台風、新型コロナウイルス感染症に見舞われるなか、市民、産業界の皆様と力を合わせ、この困難な局面にしっかりと対峙し、乗り越えなければならないと認識を

新たにしたところであります。

我々としまでも、まさに国の方針に呼応した「新しい生活様式」「実現型課題解決先進都市の創生」が基本方針として当局から示され、更なるSDGsの理念浸透、市役所のDX化、流域治水による災害に強い安全安心なまちづくりの推進など、それぞれの地域の課題や要望をしっかりと把握し、市民の皆様の声を市政に反映すべく、課題解決、要望実現に向けて真摯に取り組んでまいります。

今年は五年になります。どんな困難にぶつかってももしっかり立ち上がって、ゆっくり、ゆったり、急がず騒がず、どっしりと構えて物怖じせず、確実に前進して充実の一年になればと思います。一日も早いコロナの収束と市民の皆様が健康で幸せな年になりますようご祈念申し上げます。

## 12月定例会の概要

郡山市議会12月定例会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、12月2日から17日までの16日間にわたり開催されました。

一般会計補正当初予算額2億8,347万3千円、特別会計当初補正予算額5,621万7千円それぞれ増額され、一般及び特別会計の累計額は、3億3,969万9千円、前年度同期比で14.6%増となり、原案通り可決しました。

東日本大震災後10年を迎え、郡山市震災復興基金のリニューアルにより「郡山市きずな」基金を創設するとともに、最終日に提出された人事案件に同意したほか、請願1件について採択しました。

なお、本年4月に行われる市長選挙に、新政会会長廣田耕一議員の一般質問に対し、品川萬里市長は立候補を表明しました。

### 新 政 会 議 員 紹 介



顧問 遠藤 敏郎 (6期)  
総務財政常任委員長



会長 廣田 耕一 (3期)  
建設水道常任委員会 (委員長)



副会長 石川 義和 (3期)  
郡山市監査委員  
総務財政常任委員長



幹事長 折笠 正 (2期)  
議会運営委員会 (副委員長)  
建設水道常任委員会  
郡山地方広域消防組合議員



栗原 晃 (3期)  
環境経済常任委員会 (委員長)  
議会運営委員会  
郡山地方広域消防組合議員



良田 金次郎 (2期)  
総務財政常任委員会 (副委員長)  
郡山地方広域消防組合議員



會田 一男 (2期)  
文教福祉常任委員会 (副委員長)  
旧農田貯水池利活用特別委員会



三瓶 宗盛 (1期)  
環境経済常任委員会  
広域広報委員会  
旧農田貯水池利活用特別委員会



福田 文子 (1期)  
文教福祉常任委員会  
議会運営委員会  
広域広報委員会

380 mm

273 mm

# 一般質問(令和2年12月定例会)

12月定例会 市政一般質問には、廣田耕一議員、會田一男議員、折笠正議員、良田金次郎議員が登壇しました。

## 廣田 耕一 議員

### 本市の財政状況について

**問** 昨年の東日本台風による経費や今年の新型コロナウイルス感染症対策に要する経費など、従来に加えて大きな財政支出が求められるなか、現在の本市の財政状況の認識を伺う。

**答** 令和元年度決算では、一般会計、公営企業を除く29の特別会計の合計で黒字決算となっている。また、実質赤字比率、連結実質赤字比率はともに黒字で赤字はなく、将来負担比率は実質的な負担額が生じない結果となり、実質公債費比率4.3%は前年より0.7%良好し、概ね良好な結果となっている。

また、財政調整基金は、12月補正後の基金残高見込みが91億6,146万と、残高目安となる標準財政規模の10%を大きく上回っており健全な財政運営を行っていることと認識している。

しかしながら、本市を取り巻く環境や新たな行政課題への対応が予想されるなど、今後、これまで以上、健全な財政運営が求められるものと考えている。

### 来春の市長選出馬について

**問** 国難とも呼ぶべき困難な時勢とデジタル化への転換が待たなしの今、SDGs未来都市の認定をはじめ、花開きつつある成果を満開のものとするため市長は次の4年間に挑戦すべきであり、出馬を表明すべきと考えるが市長の所信を伺う。

**答** SDGs未来都市たる本市としては「誰一人取り残さない社会」の実現に全市を挙げて取り組む体制を構築しつつある。

本市の未来のため、持続可能なまちづくりが期待される中、これまでいただいたご縁、経験をバックキャストの感覚で、すべて投入しなければとの思いを深め、皆様のご支援を支えとして、来年4月の市長選挙に出馬することを強く決意するに至った。

私にとって、ご縁深く大恩ある本市の市長を務めさせていただくことは、この上ない名誉であり、市政発展のため、新たな時代への攻めの体制を築いて参る所存である。様々な課題のある中、引き続き皆様のご理解とご支援、ご指導を心からお願い申し上げ、出馬への決意表明とする。



## 會田 一男 議員

### 県道二本松金屋線改修の県へのさらなる働きかけについて

**問** 台風19号の被害は甚大であり、治水対策は、人命の安全安心を守る上で自治体の最優先事項である。阿武隈川の河川改修、河道掘削、堤防構築、県管理河川の改修は進んでいるが、阿武隈川(東岸)において南北に通ずる県道二本松線は、浸水により各所寸断され、避難所に行けなかった。そこで、県へできることから年次計画で改修するように要望すべきである。



**答** 令和元年東日本台風の被害を受け、災害に強い安心安全なまちづくりのためには本路線を含む国県管理の主要幹線道路において強靱化をはかる必要があることを認識し、2019年12月市長自ら国、県への要望書を提出している。「阿武隈川緊急治水対策プロ

ジェクト」と連携し平時・有事を問わない安全・安心な通行確保に向け計画的に事業推進が図れるよう県へ引き続き要望して行く。

### 高柴デコ屋敷の公衆トイレについて

**問** 高柴デコ屋敷の公衆トイレの便器や手洗い場が茶色に変色し観光客からも苦情が出ている。故障箇所の修繕と上水道の付設による切り替えの計画等も含め当局の見解を伺う。

**答** 2006年度に男子洋便器1基、小便器2基、女子洋便器各1基、多目的トイレ1基をバイオマストイレとして整備した。手洗い台等の変色の原因は、利用する地下水の鉄分を取り除く装置の故障によるものであり、12月に故障した装置を交換する。手洗い台についても今年度中に交換する。将来的には、上下水道利用を前提に施設のあり方を検討して行く。

## 折笠 正 議員

### 令和3年度国土交通省関係予算の道路・河川事業に係る要望状況等について

**問** 令和2年度国土交通省関係予算配分方針は、「防災、減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を集中的に実施し、安全・安心な社会を実現することとしている。そこで、国へ令和元年東日本台風による被害やコロナ禍の状況を踏まえ、どのような事業内容の要望を行ったのか。



**答** 令和3年度予算要望状況は、将来を見据え、必要な事業に絞り集中投資するなど、長寿命化を図りながら、第2の復興予算と位置付け社会資本整備を図ることが予算要求のポイントとし、近年の気候変動影響を受けた、東日本台風のような深刻な被害をもたらしている現状を踏まえ、道路・街路事業関係17事業、河川関係事業4事業予算として25億3,900万円を国に要望している。

### 小学校における教科担任制の導入に向けた取り組みについて

**問** 小学校における教科担任制の導入は義務教育9年間を見通した教育体制の構築、系統的な指導による中学校への円滑な接続、きめ細やかな指導による授業の質の向上に繋がり、また先生方の授業の準備負担は軽くなる。そこで、小学校での教科担任制導入について、どのように考えているのか、併せて、本市の取り組みについても伺う。

**答** 湖南小中学校及び西田学園では最大8教科、桑野小、行健第二小、明健小では高学年での教科担任制に取り組んでいる。さらに、スーパーティーチャーを同一中学校区の小中学校に派遣し、教員が系統的に指導する取り組みを進めており、学力向上や中学校進学への不安解消等の成果が見られる。また、教科担任制については、各校1名以上の増員を図るため全国教育長協議会等を通じ、国や県に要望している。

## 良田 金次郎 議員

### 有害鳥獣対策について

**問** ここ数年イノシシの出没回数が増加し、本市は電気柵を設置し、農作物被害対策に取り組んでいるが、一向に被害が減少しない状況にある。被害額と電気柵設置状況、今後の整備について、見解を伺う。



**答** 農作物の被害状況及び被害防止策については2017年度から毎年実施する集落アンケート調査と連携し市内全農家7,745戸を対象に郵送による調査を行っている。調査結果は2019年度イノシシ287頭、被害額542万円、2020年度は10月末でイノシシ841頭、99頭捕獲されている。電気柵については、国の鳥獣被害対策交付金を活用し2013年から8年間かけ総予算1億1,560万円かけ8行政センター管内で約565km整備した。今後も年間70kmの電気柵整備に取り組んで行く。

### 郡山南インター線周辺の開発について

**問** 中央工業団地に甚大な被害を出した台風19号、立地する企業にも甚大な被害をもたらした。そうした中、3月に郡山南インター線周辺にJAが主体となり農産物直売所をオープン予定であると聞いている。そこで郡山南インター周辺は、開発可能エリアとして屈指の立地環境を有していると思われるが、被災した企業や工場や物流施設が立地できるように整備すべきと考える。

**答** 2019年3月に策定した「郡山市市街化調整区域地区計画運用指針」により、条件を満たせばインターチェンジ出入口から距離2kmの範囲内等において、工場、物流施設等開発できる環境となっている。台風19号により被災した事業者等の支援として、2020年2月から施行した、被災建築物の市街化調整区域への移転許可基準により、用途地域に接している土地又はインターチェンジ出入口から距離300mの範囲内の土地については、申請期限内に許可を受ければ移転することが可能になっている。郡山南インターチェンジの周辺の開発については地区計画活用による民間事業者開発状況等を見極めながら適正に対応していく。

# 12月定例会で可決された主な事業

## 新型コロナウイルス感染症対策の拡充 9,000万円

<p>PCR検査</p> <p>民間検査機関 200件/日×172日分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険診療報酬(3割~1割) 3,522万円</li> <li>・事務の代行を委託 42万円</li> </ul>	<p>高齢者・障害者1人1回1回補助</p> <p>▽内容：行政検体採取料を補助 ▽補助額：1万円/1人採取</p> <p>入院医療機関へ補助金</p> <p>▽内容：入院患者数と日数に応じて補助 ▽補助額：1万円/入院1日</p> <p>▽内容：診療風景が陽性であった場合の消毒経費等補助 ▽補助額：5万円/陽性患者1人</p> <p>▽内容：感染症指定医療機関への移送に実行する経費・看護師への補助(補助額-医師34,816円/看護師1回など)</p>
--	--

## 結婚する世帯の新生活を支援

～結婚新生活支援事業～

1,200万円

結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用(住居費や引越し費用など)に対し、国が示す施策に合わせて、新たな経済的支援を実施します。

実施主体	対象となる世帯の条件	補助対象	補助上限
実施主体 市(山形県)	夫婦ともに結婚日にあける年齢が25歳以下	結婚に伴う ①新居の購入 ②新居の家具、家電・礼金、共済費、仲介手数料 ③引越し費や運送費等に充てた新規への引越し費用	1世帯あたり 80万円 (国庫上乗せ30万円)

## 市有施設の感染防止機能を強化

～行政センター及び連絡所改修費～

1億3,482万円

<p>手洗いの自動水栓化</p> <p>○洋式便器設置 ふたの自動開閉・暖房、ウォシュレット</p>	<p>手洗いの自動水栓化</p> <p>○センサー式フラッシュバルブ設置</p>
--	--

手洗いの自動水栓化 90カ所

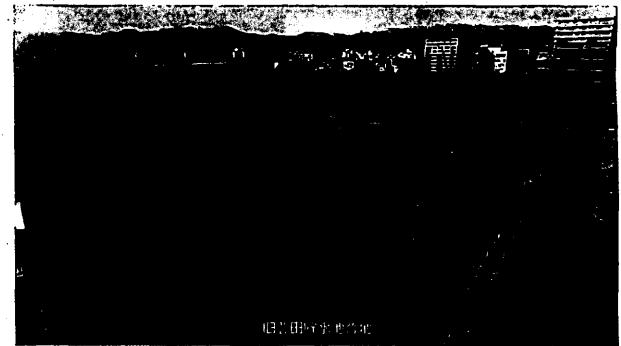
○球形ハンドルを自動水栓化

○公共施設のトイレ洋式化率  
67.2% → 73.5%  
(2020年3月現在)  
※国庫補助率 40%補助

## 旧豊田貯水池跡地の利活用について 特別委員会を設置

市は旧豊田貯水池跡地の利活用について、具体的な整備計画に向け、市民等との議論のたたき台を目的に、災害リスク低減を図るグリーンインフラによる雨水の流出抑制機能などを含む旧豊田貯水池利活用方針(案)中間とりまとめを提案しております。

これに対し、議会としても具体的に提言できるよう「旧豊田貯水池利活用特別委員会」を設置し審議することとしました。



## 放課後児童クラブの待機児童解消を推進

～放課後児童クラブ施設整備、民間放課後児童クラブ補助事業～

1,424万円

<p>施設整備</p> <p>鉄員台小 (40人) 合計 180人 方角小 (30人) 富田小 (30人) 富田小 (30人) 富田小 (40人)</p> <p>・供用開始 2021年4月 ・予算内容 施設整備、備品購入等 1,424万円</p>	<p>民間放課後児童クラブ補助</p> <p>市との連携推進のほか、補助制度の創設に伴う利用料の軽減を図り、待機児童の解消を図ります。</p> <p>民間児童クラブ21事業所(28クラブ) 定員 約800人</p> <p>目的 ①市の待機児童の受け入れへ市と連携(情報提供、紹介) ②児童の安全・安心の確保→運営基準遵守による質の向上 ③保護者の負担軽減→利用料金軽減による保護者の経済的負担の拡大</p> <p>補助開始 2021年4月予定 予算内容 補助交付金1億6,754万円(国庫負担行)</p>
---	--

# 一般質問(令和2年9月定例会)

9月定例会 市政一般質問には、三瓶宗盛議員、福田文子議員、栗原晃議員が登壇しました。

## 三瓶 宗盛 議員

**問** 高齢者の健康維持活動におけるICT等の活用について

いきいき百歳体操をはじめ、これまで市や社会福祉協議会等が連携して行ってきた健康増進活動は、特に高齢者の方々の認知機能や身体機能の維持に大きく貢献してきた。ステイホームを強いられている高齢者等の介護予防に向け、ICTやオンライン等の新たな技術を活用した高齢者の健康増進活動への支援が必要と考えるが当局の見解を伺う。

**答** 団塊の世代が後期高齢者になる2025年を前にして、高齢者の健康維持は国の大きな課題、国は高齢者の健康維持という

ことでICT活用型のオンライン通いの場アプリケーションを開発した。また、私たちが考えた介護、介護予防体操を作成した。広く健康体操を普及させるが、要はどうやってその気になってもらうかが大事である。

そのために公民館等でICT活用型の授業や遠隔リモート講演会等でICT活用を様々な面で広げていく。しかし、ICTを使うのが健康体操ばかりではないという雰囲気をつくることも大事であり、ICT等を使うことで生じる健康問題も取り組んでいく。



## 福田 文子 議員

**問** 自転車保険について

自転車事故は莫大な賠償金を払わなくてはならない場合も起きている。自治体によっては自転車事故に関わる賠償などに備え、条例制定による自転車保険加入の義務化が進められている。被害者への補償、そして加害者の責任として、自転車保険への加入は重要であり、セーフコミュニティのまちづくりを推進する本市として、自転車保険への加入を促進していくべきと考えるが見解は。

**答** 自転車保険への加入促進については、市民の共助の課題であり、大変重要な課題である。被害者の速やかな救済と加害者の経済的負担の軽減等を目的とした自転車保険の加入促進は大変意義あるものと考えており、セーフコミュニティ推進協議会、福島県自転車軽自動車商工協同組合、日本損害保険協会等関係団体と連携しながら、自転車保険の重要性について周知、加入促進を図っていく。





栗原 晃 議員

農地付き空き家対策の実施に向けて

問 6月定例会において新規就農者の誘導定着の取組として空き家に付随する農地に別段面積を設定する取組はしていないが、その必要性について調査研究すると言われているが新規就農者の受入れ促進や遊休農地の解消を図るためにも早急に取り組むべきと考えるが、どのような取組をしてきたのか。

答 本市農業委員会では、今年7月の月例総会において、農業委員及び農地利用最適化推進委員が農地付き空き家の別段面積等に

ついて調査研究を行い、理解を深めた。別段面積を何アールにするかなどについてさらに検討することとした。また、建設交通部及びNPO法人こおりやま空き家バンクと、課題解決のために意見交換を行っており、今後とも実施に向けた連携をしてまいりたいと考えている。実施時期はいつにするのかなどの詳細についてさらに検討する。農業委員会としては、事業の趣旨を踏まえ、農地付き空き家がスムーズに購入されるよう、できるだけ小さい面積を設定したいと考えている。

令和元年度 決算概要報告

(一般会計・公営企業4会計を含む33特別会計)

令和元年度決算特別委員会は、去る令和2年9月24日から29日までの6日間にわたり決算議案34件について審査し、全会一致で可決及び認定されました。

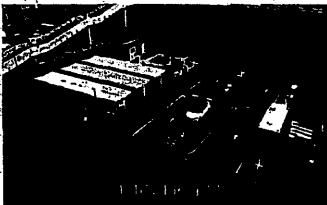
決算の概要は次の通りです。

一般会計の決算額は歳入が1,416億6,185万円、歳出は1,354億3,068万円で、翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は、47億3,556万円の黒字決算となりました。

また、公営企業を除く29の特別会計の決算額の合計については、歳入626億889万円、歳出605億8,844万円で翌年度への繰越充当財源を差し引いた実質収支は、16億2,617万円の黒字決算となりました。財政健全化判断比率は、一般会計等の赤字額の割合を示す実質赤字比率及び公営企業会計等までを含めた連結実質赤字比率に赤字額はなく、市の財政規模に占める借入金返済額等の大きさを示す実質公債比率、借入金等に加え、将来にわたる市財政への負担の大きさを示す将来負担比率についても、健全な状態にあります。

なお、令和元年度東日本台風への対応は、公共土木施設の災害復旧費は、4億4,312万円となりました。農業施設の災害復旧費は2億2,939万円、災害対策資金融資制度を創設し19億5,355万円の融資が実行されました。その他、災害見舞金、住宅支援等を行いました。

安積永盛駅西口広場が改良されました



整備内容  
乗降場整備(一般車・大型車)  
駐輪場増設:40台  
合計240台(既存駐輪場含む)  
待合所整備(2ヶ所)  
照明増設(2基)  
通行帯

議会PDCAサイクル

各常任委員会で、事業の進捗報告の聴取と評価を実施するPDCAサイクルの取組みについて、定例会ごとに当局から報告を受けてきました。

9月定例会において、昨年度の対象事業に対する評価の報告と今年度の対象事業の選定を行いました。

常任委員会	令和元年度対象事業とその評価	令和2年度選定事業
総務財政	◆(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業 庁内連絡会議及び有識者会議について、住民説明会について、パブリックコメントの結果についてなど、質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき計画どおり行われたと評価した。	◇(仮称)郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業
建設水道	◆雨水貯留施設等整備事業 ゲリラ豪雨対策9年プラン策定の背景について、麓山調整池暫定供用後の内水被害軽減状況についてなど、質疑を交わし、年度内の予定工事は全て執行したことを確認し、事業計画に基づき計画どおり進捗したと評価した。	◇雨水貯留施設等整備事業
環境経済	◆森林経営管理事業 担い手や財源について、意向調査の結果について、林相調査の内容についてなど、質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき計画どおり行われたと評価した。	◇猪苗代湖一周サイクルツーリズム推進事業
文教福祉	◆小中学校施設環境整備事業 トイレの洋式化について、予定した282器が整備された結果、進捗率は100%となり、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適切に整備されたと評価した。	◇健康増進事業 ◇保育士宿舍借り上げ支援事業 ◇保育士・保育所支援センター事業 ◇小学校長寿命化改修事業 ◇小中学校未来を拓く教育の情報化推進事業 ◇小中一貫プログラミング教育推進事業 ◇統合型校舎支援システム

編集後記

本年はこの3月に、東日本大震災・福島第1原子力発電所事故から10年が過ぎ、復興・創生が求められます。そしてコロナ禍における緊急事態宣言の対象地域が1月13日現在11都府県に拡大されました。本県も全県民に対し感染拡大地域との往来だけでなく、県内での不要不急の外出自粛を要請等行い感染予防に取り組んでおります。新型コロナウイルスの一日も早い収束を祈らずにはおられません。

本年は五年、牛は重い荷を背負い一歩ずつ確実に大地を踏みしめて歩みます。

年頭にあたり新国会一同は震災復興・創生そして最大の課題、コロナ感染症対策に全力挙げて取り組み、牛に学び、市民の皆様への付託に確実に歩む覚悟です。皆様のご支援・鞭撻をお願い申し上げます。

(新国会一同)

ご意見をお気軽にお寄せください  
☎(024)924-2507 fax(024)924-0141

虚礼廃止について

公職選挙法により書中見舞など、時候の挨拶状が禁じられております。市民の皆様には、趣旨をご理解いただきご協力を賜りますようお願いいたします。



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。

折込確認書兼折込明細書

(送信先)

折込申込者 00169	株デザインライフ			様
担当者				様
TEL	024-923-5555	FAX	024-923-5573	
住所	郡山市緑町10-17			
E-Mail				

いつもお世話になっております。  
 ご発注頂いた内容（折込日・サイズ・枚数など）をご確認いただき、  
 よろしければ「申込者確認欄」に署名又は押印の上、ご返送下さい。

広告主名 00001	新政会 議会報告			様
折込日	年	月	日 ( )	未定
サイズ	B3	枚数	82,800枚	

自社担当	01122	
入力担当	01122	
問合せNO	12101180032	

新聞販売店	枚数	地域指定等
新郡山毎民中央	2,500	毎報サ経 日経産系含む全紙へ
毎民郡山駅西C	3,850	毎報サ経 日経産系含む全紙へ
郡山毎民桑野	4,200	毎報サ経
(桑野)	3,650	毎報サ経 日経産系含む全紙へ
(片平)	550	報経 日経含む全紙へ
新郡山毎民南部	4,200	毎報サ経 日経産系含む全紙へ
郡山毎民西部	4,000	毎報サ経
(小山田支店)	2,200	毎報サ経 日経産系含む全紙へ
(大槻支店)	1,800	毎報経 日経含む全紙へ
郡山毎民富久山	2,650	毎報サ 産系含む全紙へ
郡山毎民北部	2,900	毎報サ経 日経産系含む全紙へ
郡山読売中央	3,000	読友経 日経含む全紙へ
郡山読売富久山	4,900	読友経 日経産系含む全紙へ
郡山読売大槻	4,850	読友
郡山読売開成	2,500	読友
郡山読売駅東口	2,750	読友
郡山YC希望丘	5,000	読友
郡山読売北部	2,200	読友 読売・民友
郡山読売麓山	2,850	読友
郡山朝日中央	3,600	朝友
新郡山朝日開成	3,250	朝友
郡山朝日南部	2,100	朝友 郡山市へ！（須賀川必ず除く）
郡山毎民安積北	4,350	毎報サ経 日経産系含む全紙へ
郡山毎民安積南	3,000	毎報サ経 郡山市へ！（須賀川必ず除く）
郡山読売安積	3,300	読友 郡山市へ！（須賀川必ず除く）
郡山柴宮三穂田	1,350	毎報経 日経含む全紙へ
郡山読友三穂田	800	読友
郡山日和田大内	1,200	毎報朝経 日経含む全紙へ
郡山舞木販売C	1,200	毎報朝読 郡山市へ！（三春必ず除く）
郡山守山馬場	2,150	毎報朝読 日経含む全紙へ
郡山柳橋桑島	600	報朝友
郡山柴山新聞舗	1,750	毎報朝経 日経含む全紙へ
郡山湖南斎藤	550	報読友
郡山湖南小檜山	350	報朝友
[郡山市 計]	81,900	
田村三春集報社	900	西田町へ！
[田村郡 計]	900	
【県南 計】	82,800	

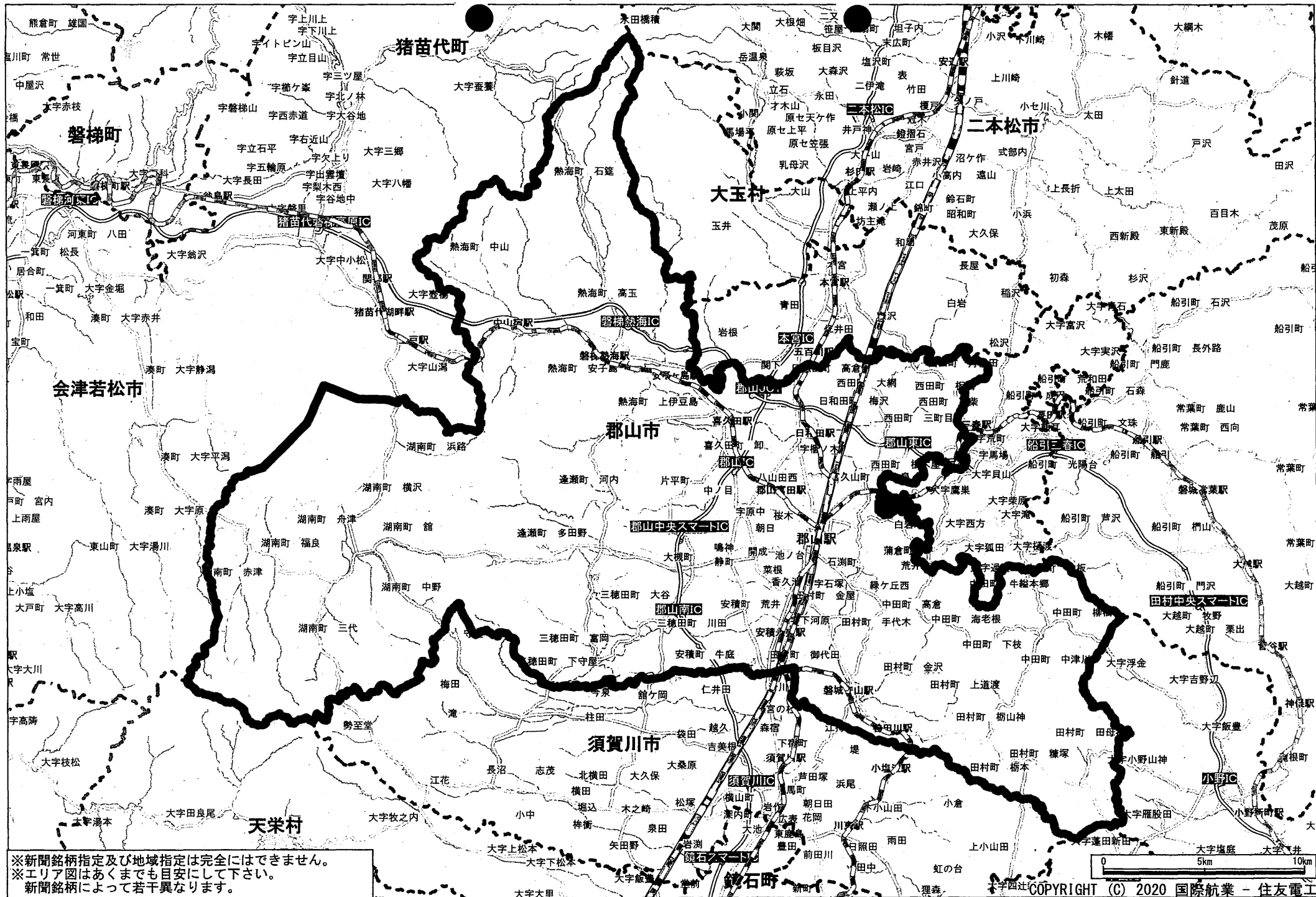
※新聞の銘柄指定および地区指定は完全には出来ませんので御了承下さい。  
 ※折込日3日前までに修正・変更の連絡をいただけない場合は、上記内容にて折込致します。

受付	確認

電話	FAX	メール	面談	受付日
				21年 1月 18日

申込完了確認日時	申込者確認(サイン・印)
年 月 日	

FCF-702(04.04)



※新聞銘柄指定及び地域指定は完全にはできません。  
 ※エリア図はあくまでも目安にして下さい。  
 新聞銘柄によって若干異なります。